

| | | | |
|-------|----------|------|-------------|
| 3類型 | 鈹工業品 | 通巻番号 | 7 - 19 - 22 |
| 地域資源名 | 紙加工品、不織布 | 認定日 | 平成19年12月17日 |
| 地域 | 高知県日高村 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名: 不織布と紙加工技術を活用し酸化亜鉛等を添付した薄型・耐久性のある靴の中敷き製品製造、販売

会社名: 株式会社ヘイワ原紙

所在地: 高知県高岡郡日高村沖名4069

連絡先: TEL: 0889-24-5546

H P: www.heiwagenshi.jp

FAX: 0889-24-4349

事業概要(新たな活用の視点)

- ・平安時代からの1,000年を超える和紙産地として発達し、紙産地の技術を活かして様々な種類の紙を生産している。
- ・地域内産地技術の複合と域外発信を目指すという自社のものづくりに対する理念に基づき、酸化亜鉛の用途開発研究で得た成果を活用して事業化。
- ・高知県産の紙や不織布をベースに、様々な素材を2次加工し商品化してきたノウハウ・技術力を背景に、これまで他の分野で使用されていた不織布製品の機能性に着目し酸化亜鉛の効果を加えて不織布製中敷きを国内で初めて開発する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・表裏で特性の違う不織布を活用して、消臭抗菌機能を持つ酸化亜鉛等を塗布して今までにない薄型で、耐久性・消臭抗菌性に優れた靴の中敷きを実現。また、遠赤外線セラミックスを付加することで遠赤効果が得られるなど既存商品と差別化する。

市場性

- ・試作品のモニター調査で一定の評価を得ている。
- ・靴の中敷きは、靴販売店や量販店、スーパーやドラッグストア等、取り扱い店舗も多数存在し、市場規模も大きいものと想定する。

販路

- ・現在取引のある商社を通じて一定の販売量は見込まれる状況であり、そのルートを中心に据えるとともに、ファッション性を重視する等して通信販売等新たな方面にも販路を拡大していく。



同社製「紙せっけん」

地域資源における関係事業者との連携

- ・経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業の成果の事業化。
- ・地域内素材メーカーとの連携を密にして、バリエーションを増やすなど息の長い商品にしていく。

